同友ぐんま

同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶

2019年 5月号

発行/群馬中小企業家同友会　〒371-0013　前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F　TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666　E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

時代の節目に原点回帰、理念から学び直そう！

第47回定時総会

四月二十二日（月）、ニューサンピアを会場に、群馬中小企業家同友会「第四十七回定時総会」が開催されました。

「総会議事」では、冒頭、群馬県産業経済部・吉田産業政策課長、群馬県産業支援機構・根岸理事長よりご祝辞をいただきました。また、中同協からのメッセージが司会の島山副代表理事より紹介されました。

続いて議長の進行により議案審議。新年度の活動方針や役員、予算などを力強い拍手で承認。代表理事には山岸氏、澤浦氏、田村氏の三名が選任されました。また、今年度のスローガン「時代の節目に原点回帰、理念から学び直そう！」をはじめ、重点方針、部門方針について山岸代表理事が要点を説明しました。

議案審議終了後に行われた表彰式では、前年度の支部入会目標を達成した太田支部（阿久戸支部長）、沼田支部（宮田支部長）に表彰状が授与されました。

続いて行われた「記念講演」では、山形同友会理事・共同求人委員長を務める㈱サニックス、代表取締役社長・佐藤啓氏を講師に迎え、「持続可能な自立型企業づくりで一〇〇年企業をめざす」をテーマにお話しいただきました。同社は自動車・大型トラックの整備や塗装、メンテナンスなどを行う総合自動車サービス業。経営指針を中心に据えた企業風土の醸成や社員が主役の委員会活動、さらに山形大学とのインターンシップの取り組みがもたらす自社や地域への影響など、佐藤氏が実践してきた持続可能な自立型企業づくりから学びました。（講演要旨は次号掲載予定）

講演後の「会員交流の集い」では、同友会と参加企業の益々の発展を祈念して高らかに乾杯。支部の枠を越えて時間の許す限り交流を深め、新年度のスタートを切りました。

新社会人としての第一歩！

2019新入社員研修会

四月四日（木）～六日（土）、赤城林間学園を会場に「二〇一九新入社員研修会」が開催され、十九社より三十六名、経営者側を含め総勢六十名超が参加しました。

第一日目のテーマは「社会人として」。挨拶・ビジネスマナーの基礎はもちろん、体験談〝人との出会い〟を受けてのグループディスカッションで、良好な人間関係の構築が自己成長のベースになることを確認し合いました。また夕食後には、自分の人生を振り返って〝親への手紙〟を書き綴りました。

第二日目のテーマは「仕事とは」。「分業制と指示命令」の講義で組織とは何かを学んだ上で、野外実習「味コンテスト」に取り組みました。カレーづくりを仕事の受注に見立て、計画・役割・協力など組織のあり方、仕事の進め方について、実体験を通じて学びました。グループによってカレーの出来映えは様々でしたが、貴重な経験になったことがうかがえました。

第三日目のテーマは「人生設計」。夢や目標、生きがいや働きがいを持ち、そのために何をすべきかを考えることの大切さを学び、研修生それぞれが三ヶ月後、一年後、三年後の「目標&行動計画書」を作成しました。また、最後に参加経営者から新入社員への期待を込めたメッセージが送られ、三日間の研修会は幕を閉じました。

研修生のレポートには「参加させてくれた会社に心から感謝。社会人になるにあたり絶対に必要な三日間の経験だった」「まだまだやれることが少ないが、その仕事に全力で取り組み、上司から信頼されるようになりたい」「安心して仕事を任せられる人をめざす。それが自分の生きがいや働きがいにつながると思うから」など、実りの多い研修会であったことを物語る決意が綴られていました。

二〇年以上続く新入社員研修会ですが、年々洗練され素晴らしい内容であることは疑う余地がありません。七月開催のフォロー研修会では一回り成長した研修生に会えることでしょう。

部品加工の　株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL:http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp

従業員数　12名
代表取締役　島山　淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL　0276(37)4571
FAX　0276(37)4562

安全と安心のトータルソリューション
KB 関東防災工業株式会社
～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針（PDCE）の販売、防災コンサルティングまで～
◆本　社／前橋市高井町一丁目２９－７
TEL：027-251-3535　FAX：027-251-3540
◇安中営業所／安中市西上磯部１７３６
TEL：027-385-5261　FAX：027-385-5291

同友会活動による危機からの脱出

高崎支部3月例会

三月十五日（金）、高崎市総合福祉センターを会場に「高崎支部三月例会」を開催。搬送用ベルトの特殊加工などを手掛けるマルシン産業㈱、代表取締役・提箸康裕氏（副代表理事／富岡支部）が報告者を務め、「私、訳あって居場所が変わりました～同友会活動による危機からの脱出～」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

提箸氏は「今、失敗の真っ最中」との言葉から、テーマにある〝居場所が変わった理由〟を赤裸々に説明。その後も自身が経験した数々の失敗事例を順を追って報告していきました。また、同友会の中心的な活動の一つである経営指針の重要性を指摘した上で、「夢や希望を語るだけでは社員の動機にならない。待遇や労働条件、働く環境が良くならなければ意味がない」との持論を語りました。

報告終了後は「伝える」をテーマにグループ討論。「社員や取引先とのコミュニケーションの大切さ」「信頼関係を築くことがスタート」「言葉以外にも伝え方はたくさんある」など、活発な意見交換が行われました。

中小企業のサイバーセキュリティ対策

伊勢崎支部3月例会

三月二十六日（火）、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部三月例会」を開催。群馬県警察本部サイバーセキュリティ対策係・塩谷昌義氏を講師に迎え、「中小企業のサイバーセキュリティ対策～あなたの会社も狙われている…～」と題してお話しいただきました。

塩谷氏は、サイバー犯罪被害の情勢や県内企業へのアンケート結果などを紹介した上で、中小企業におけるセキュリティ対策の重要性を指摘。「モノの盗難より、情報の盗難（漏洩）の方が事業継続に与える影響は大きい。セキュリティ対策を経費と捉えるのではなく、適切な投資と考えてもらえれば」と参加者に呼び掛けました。その後、キヤノンマーケティングジャパン㈱・木村琢也氏が「実務面からの対策」などを紹介しました。

グループ討論では「自社で行っているセキュリティ対策は？」をテーマに意見交換。すぐに実行できる対策から時間とお金のかかる対策まで、各社で実際に行っている事例を交流し合いました。

新会員歓迎例会

沼田支部3月例会

三月二十六日（火）、沼田市中央公民館を会場に、新会員歓迎例会を開催しました。

当日は、新会員として対象者三名が参加し、それぞれ自己紹介と会社紹介を行いました。続いて支部長から「三つの目的」のタテとバッジが贈呈され、参加会員の大きな拍手で歓迎しました。

その後は、群馬同友会副代表理事で富岡支部長の㈱サンテックス、社長・田村徳良氏が「実録！債務超過からの会社づくり～社員一人ひとりの幸せを願って～」と題して体験報告を行いました。

自己紹介から会社の変遷、同友会との関わりを語る中で、社員さんとの確執や売上げの推移など、経営者の苦悩を赤裸々に語る田村氏。普段は明るい人柄の陰に隠れて見えてこない経営者としての苦悩を垣間見る機会になりました。

参加者アンケートには「経営者の生の声を聞ける同友会らしい報告だった」「いつか自分も直面するだろう壁を、体験を通して教えてもらえた」などの感想が記されていました。

社員一人一人が輝く〝全員けいえい〟

太田支部3月例会

三月十四日（木）、韮川行政センターを会場に太田支部三月例会を開催。太田支部長の㈱アミイダ・代表取締役、阿久戸洋希氏が「社員一人一人が輝く〝全員けいえい〟～社員が主体者となる組織づくり～」と題して経営体験を報告しました。

冒頭で「社員、顧客、会社」同社の掲げる三つの満足について、順番通り社員満足を一番に考えていることを紹介。そのうえで「昼礼勉強会」や「経営指針をつくる会への社員参加」「財務内容の開示」といった実際の取組事例と、それに伴う業績の推移を丁寧に解説しながら報告を進めた阿久戸氏。

最後に「社員それぞれが個性を生かし、最後は協力して悪者を倒す。戦隊ヒーローの様な活躍をイメージしている」と自身の思いを語り、テーマのひらがな部分については「全員で継続して栄える〝全員継栄〟」であると説明しました。

参加者アンケートには「具体的な事例もあり、明日から実践したいと思わせる報告だった」「経営に対する姿勢に感銘を受けた」といった感想が数多く寄せられました。

日系三世！ケンジの挑戦

桐生支部3月例会

三月二十日（水）、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生支部三月例会」を開催。人材総合サービス業（人材派遣・業務請負）の㈱KJ International、代表取締役・丸野ケンジ氏を招き、「日系三世！ケンジの挑戦～群馬の企業と外国人労働者の橋渡しを担う～」をテーマにお話しいただきました。

南米ペルーに生まれ、十才で来日した丸野氏。その語学力を背景に外国人の人材派遣に特化した会社をスタートさせた経営体験、あるいは今後の展望などを報告しました。また、外国人採用のメリットとして「人手不足の解消」「海外との取引・インバウンド対応」「異国文化による組織の活性化」などを挙げ、「グローバルな経営環境に対応するには、外国人採用への抵抗感を減らすのも大切。まずは派遣社員から始めてもらえれば」と参加者に訴えました。

その後は「人材をどう確保していくか？」をテーマにグループ討論。「もちろん外国人採用も選択肢の一つ」「求職者に選ばれる会社づくり」「定着率の向上も合わせて考える」など、活発な意見が交わされました。

SIS 株式会社 エス・アイ・エス
企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決！
（自動化、効率化、見える化、高速化）
★システム化事例
生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他
ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築
お気軽にご相談ください。 Tel：0274-63-0466
〒370-2312 富岡市星田632－1 http://www.sis-jpn.co.jp/

会計ソフトを「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!
クラウド型予算実績管理ツール
YOJiTSU®
https://yojitsu.net/
同友会高崎支部会員
株式会社シスプラ
http://www.syspla.co.jp/
0120-638-377
群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

経営指針をつくる会・成果発表

富岡支部3月例会

富岡支部は「お互いをもっと知り合うことからはじめよう」と、三月二十日、会員自己紹介例会・第二弾を開催しました。

今回の報告者は、G3デザインの茂木代表、高沼経営コンサルタントの高沼取締役、ロックウェルの岩井社長、佐藤産業の佐藤社長の四名。

それぞれにこれまでの歩みや事業の詳細など「ちょっと長めの自己紹介」をお願いし、その後は四つのグループに分かれ、報告者を囲んでの意見交換。

新支部ならではの企画ですが、普段の例会で顔を合わせているだけではわからない部分をお互いに知ることができ、くわえて皆さんが興味を持った報告には、あらためて単独で例会報告を依頼するという循環も生まれつつあります。

失敗を恐れず挑戦せよ！

渋川吾妻支部3月例会

渋川吾妻支部は三月十八日、渋川市倫理法人会との合同企画として「先達に聞くシリーズ・第七弾」を開催しました。

今回は、群馬綜合ガードシステム㈱の創業メンバーの一人で、代表取締役会長の川崎弘氏をゲスト報告者に迎え、「失敗を恐れず挑戦せよ！～これからの経営者へ贈るメッセージ」と題して貴重な体験談を伺いました。

学生時代から今日に至るまでの様々な体験を通じて培われた強い信念、責任感、そして情熱は、誰もが考えさせられることばかりでした。

「辛いときこそ、その問題を解決するんだという使命感と責任感をもって取り組むことが大事」「仕事に惚れろ。生涯をかける情熱が必要」など、たくさんの学びと示唆に富んだ報告でした。

参加者からは「口調は物静かなのに実践者のお話は迫力に満ちていて、力になる」「情熱をかけて全力で生き抜く。会長から伺うと、ズシリと重く感じます。やり抜くことが大事だと強く感じました」などの感想が寄せられていました。

地域人材育成について考える

前橋支部3月例会

三月二十七日（水）、前橋市中央公民館を会場に前橋支部三月例会を開催。九月に続く共同求人委員会とのコラボ企画第二弾として、大間々高等学校の飯塚秀彦先生をお招きし「教育機関との連携を通して地域人材育成について考える～現役教師が語る就職教育現場の本音」と題して、高校の就職活動の現実をお話しいただきました。

高卒就職の問題点として「情報不足、〝はたらく〟観の未成熟」を挙げ、実際に企業に触れる機会の少なさに言及しました。

さらに、現在進行中の高校教育改革の中身にも触れながら大間々高校と共同求人委員会で進めるインターンシップ事例なども紹介しました。

まとめとして「学校だけでキャリア教育、進路指導は出来ないし、してはいけない。社会との連携や協働により生徒の成長を支援することが重要である」と訴えました。

参加者アンケートには「学校側も企業側もお互いをもっと知ろうとしなければいけない」「教育の本質は社会との繋がりの中から学ばせる事」といった感想が記されていました。

会員企業紹介
わが社の
イチオシ

新しい形の学習塾

YAMエデュケーターズ

代表 山谷 良一 氏（伊勢崎支部所属）

Q&A

▼会社紹介

当社は一九八五年四月に新しい形の学習塾として、中等部のみの「山谷学習塾」を自宅で開校しました。翌年四月には高等部を開設、そして十一月に大手町へ部屋を借り、「YAMアカデミー」を設立しました。

現在は、第二の家庭と言われる「放課後児童クラブ」五拠点にくわえ、第二の学校と言われる「放課後スクール」も運営するなど、子育て支援も行っています。また通信制高校であるKG高等学院の伊勢崎キャンパスにもなっています。

▼自己紹介

早稲田大学を卒業と同時に群馬大学教育学部専攻科（現在の大学院）に入学しました。その頃、学費を稼ごうと近所の子供達を集めて勉強を教えはじめたのが塾を始めるそもそものきっかけでした。

卒業後は就職するつもりで内定ももらっていましたが、当時の子供達から「これからも勉強を教えてほしい」と懇願され、塾の開校を決断しました。とはいうものの、「これで本当に生活していけるのだろうか…」と、不安いっぱいのスタートでしたが、いろんなご縁できょうまで継続することが出来ています。

個人的には、東日本大震災以降、ボランティア活動で度々東北を訪れており、現在も岩手県大船渡市を中心に、毎月二～三度は足を運んでいます。

▼新しい形の学習塾とは？

当社の名刺には「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」というルイ・アラゴンの詩がすべてに入っています。これが根本にあります。

そして新しい形というのは、例えば数学の成績を上げるためには数学ではないところで教育します。他の教科も同じです。なかなか説明しきれないところですが、一般的な教師と生徒という縦の関係ではない対等な雰囲気をつくり、不得意じゃなくてやらなかっただけだったことを気づかせ、本人が主体的に学びたくなるように工夫しています。例えば、その一つが塾では珍しいクラブ活動です。みんなで材料を持ち寄って料理を作ったりしていますが、そのときの手順などを合理的に考えられるように仕組んでいます。そして授業の際に料理の例え話をしたりして解りやすく説明します。

また「歩け歩け赤城山」という行事もやっていて、実際に赤城の大沼まで歩いていくのですが、これはどんなに遠く見える山でも、一歩進めば着実に一歩近づくことを体験してもらう意図があります。更に、人によってペースは違っても、少しずつでも前に進めば誰だってゴールに辿り着ける。これは勉強も全く同じで、他人と比べる必要はないんだということです。

講義しかしていない一般的な塾に比べると変わっていると思われますが、ものの見方を教えてあげると子供達は知らないうちに勉強好きになり、成績も上がるんです。親御さんがそこを理解してくれると、長いお付き合いになりますね。なので、嬉しいことに塾を卒業してからも顔を出してくれる子供達がすごく多いんです。

▼今後の展開について

いま始めようとしているのが、土曜日は授業を入れず、出来る子が出来ない子を教える「教えっ子クラブ」です。まさに同友会で言う「共に育つ」ですね。出来る子は復習にもなるので一挙両得だと思っています。

また今後は、合宿型のフリースクールを開校したいとも考えています。これは被災地での開催も視野に入れています。更にもうひとつ、配達授業を制度化したいと思っていて、学校や企業など、いろんな場所へ出向いて行ければと考えています。

そして最終的には子供達からお年寄りまで、「すべての年代の方々と関われる場所づくり」というのが私の夢です。

所在地／伊勢崎市中央町24-16
連絡先／TEL0270-24-7404
その他／facebook・Twitterやっています

会員たんしん

同友会のホームページで会員検索できます。

【サンダーズ印　ジムや鍼灸院】
㈱群馬プロバスケットボールコミッション

整骨院などを展開するGENKIDOとバスケットボール男子Bリーグ２部（B2）の群馬クレインサンダーズ（㈱群馬プロバスケットボールコミッション、取締役・上田秀幸氏／前橋支部所属）は、同市内に治療やトレーニングに対応した３つの施設を開設した。上泉町に開業し「群馬クレインサンダーズコンディショニングジム」は子どもから大人まで幅広い世代を対象とする。スポーツ選手と同じ水準の治療で、けがをしにくい体づくりに取り組める「群馬クレインサンダーズ鍼灸整骨院」も近くに開いた。このほか、喜多町に女性のボディーシェイプを目的とした「GUNMA CRANETHUNDERS BEAUTY AND CONDITIONING」を開設した。
［3／22付上毛］

【創業70年の節目祝う】　石川建設㈱

総合建設業の石川建設㈱（部長・石川貢氏／太田支部所属）は、同社で創立70周年を記念した祝賀会を開いた。社員ら220人が節目の年を祝い、さらなる躍進を誓った。石川社長は祝賀会の冒頭で「お客さまと協力会社の皆さま、社員やOBに支えられ、70年の歴史を積み重ねられた」とあいさつ。「80周年に向けて頑張りましょう」と社員に呼び掛けた。本マグロの解体ショーが会場を盛り上げたほか、周年を記念して作った名刺入れや帽子といったグッズが社員に配られた。
［3／28付上毛］

【新元号を商機に】　蔵前産業㈱

紙容器を受注生産する蔵前産業㈱（取締役会長・橋本勝氏／前橋支部所属、代表取締役・松下信一氏／前橋支部所属）は、繭玉の形をした紙容器のふたに令和を入れた商品をインターネットで発表した。繭の形をしたパッケージ技術を周知しようと、新元号の発表に合わせ準備してきた。同社Explo（エクスプロ）事業部の大原部長が新元号発表から約20分後に試作品のふたを作り、同社のフェイスブックで公開した。同日にはぐんまちゃんパッケージも発売しており、大原部長は「パッケージそのものが商品だという提案をするために、注目される新元号の発表を待っていた」と話す。
［4／2付上毛］

【笠懸に新施設】　㈱メモリアル

葬祭業の㈱メモリアル（代表取締役・松村道子氏／桐生支部所属）が、みどり市笠懸町阿左美で建設を進めていた葬儀施設「ガーデンハウスかさかけ」が完成した。利用者からの要望が多かった市南部エリア初の拠点として、商圏拡大の足掛かりにする。施設は県道太田大間々線に面し、鉄骨造り平屋建て、延べ床面積479平方メートル。落ち着いたクリーム色を基調とした内装は、木のぬくもりを感じられるよう自然素材をふんだんに使った。70席の式場と48席の待合室を配置し、控室やトイレも含めてバリアフリーにした。駐車場は約100台を用意する。　［4／3付上毛］

【産学がプロジェクト】　㈱小淵警備保障

警備業の㈱小淵警備保障（常務・小淵豊太郎氏／伊勢崎支部所属）と靴のインソール（中敷き）を手掛けるBMZ、高崎健康福祉大健康福祉学部の三者がタッグを組み、「立ち仕事疲労軽減プロジェクト」を立ち上げた。働く人を足元から支え、立ち仕事の多い警備業の労働環境向上を狙う。科学的根拠を得るための実証実験を始めた。実証実験は、小淵警備保障の従業員約30人を被験者とし、３月26、27両日と４月６、７両日に実施。交通誘導の業務前と業務後の筋肉の硬さを比較し、こりから来る疲労の具合を数値化する。
［4／3付上毛］

【グローカル人材フォーラム】　共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学（学長・大森昭生氏／前橋支部所属）は３月27日、「グローカル人材フォーラム～大学の取組、学生の海外・地域活動発表、研究活動報告～」を同校で開き、新入生や教員、地元企業関係者など、約230人が参加した。同大学は15年度、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択を受け、地域に必要とされるグローカル（Global+Local）人材の育成に取り組んでおり、同フォーラムはさまざまなプログラムに参加した学生の活動発表や教員の専門テーマによる研究活動報告などの場として実施した。　［4／4付ぐん経］

【赤城を生ハムの名産地に】　㈱エーアンドブイ企画

前橋市三夜沢町で「林牧場福豚の里とんとん広場」を運営する㈱エーアンドブイ企画（代表取締役会長・林きみ代氏／前橋支部所属）は、施設内に赤城山麓で作ったプレミアム生ハムを販売する「ヒュッテ　ハヤシ」を開店した。この拠点を活用して今後、地元養豚農家に生ハム作りを教えて生産者団体を立ち上げ、「赤城山の生ハム」をブランド化したい考え。林社長は「赤城山をイタリアのパルマのような一大産地にし、活性化させたい」と意気込む。　［4／11付上毛］

【目標に向け勉学に励む】　中央カレッジグループ

中央カレッジグループ（代表理事長・中島利郎氏／前橋支部所属）の専門学校７校の合同入学式が10日、前橋市のベイシア文化ホールで開かれ、830人が職業人を目指して歩み出した。７校は中央情報経理、中央医療歯科、同高崎校、群馬法科ビジネス、中央農業大学校、中央情報大学校、高崎ビューティモード。中島理事長は「立派な社会人、職業人を目指し、グローバル化に対応できるオンリーワンの自分を形成してほしい」と激励。新入生代表で中央情報大学校の周藤颯人さんが「目標に向けて努力を惜しまず、勉学に励む」と誓いの言葉を述べた。　［4／11付上毛］

【高崎市小八木町に新事務所】
㈱米田横堀建築設計事務所

㈱米田横堀建築設計事務所（代表取締役所長・横堀将之氏／前橋支部所属）は、前橋市本町から事務所を移転した。“自然に寄り添う建築づくり”を追求するため、榛名山を望める河畔に新築したもので、12日と13日にオープンハウスを実施した。移転先はJR井野駅から近く、井野川と正観寺川の合流点に位置いる場所。敷地面積は約200平方メートルで、木造一部２階建て、延べ床面積約70平方メートル。事務所内はガラスを多用した打ち合わせスペースとキッチン、窓越しに川を見下ろすことができる事務スペースなどで構成。壁面には本棚を設けた。　［4／18付ぐん経］

【クラウド型経営支援システム】　㈱シスプラ

会計事務所向け財務会計ソフトメーカー、㈱シスプラ（代表取締役・椛沢均氏／高崎支部所属）はこのほど、クラウド型経営支援システム「YOJiTSU（ヨジツ）」をリリースした。市販されている財務会計ソフトからデータを取り込み、月次試算表や決算書では見えなかった経営数値を「見える化」するもので、会計事務所の経営支援サービスをサポートする。椛沢社長は「近年、会計事務所も人手不足に悩まされている。ヨジツを利用することで、顧問先企業の健全経営に役立ち、付加価値が高まり、生産性が向上し、待遇改善にも寄与、魅力ある職場となる」と話している。　［4／18付ぐん経］

【会員登録変更】

㈱大五建設（高崎支部所属）では、この度、「専務取締役・高橋寿明氏」に会員登録を変更しました。

【事務所移転】

㈲プロジェクト、代表取締役・近藤雄一郎氏（渋川吾妻支部所属）では、この度、下記のとおり事務所を移転し、合わせて電話番号・FAX番号を変更しました。
〒371-0852　前橋市総社町総社1083-3
TEL：027-289-2533
FAX：027-289-2523

第12回 理事会報告

日時　四月二日（火）十八時三十分～
会場　同友会事務所・会議室
出席者（順不同・敬称略）
正副代表理事／山岸、澤浦、田村、提箸、島山、常任理事／戸塚、吉池、町田、阿久戸、生沼、平岩、小林、水野、阿久戸、宮田、植杉、理事／海老沼、杉﨑、佐藤、丹羽、布施、篠原、笠原、池沢、佐藤、関口、事務局／黒岩、阿久澤、竹内（役員計二十六名）

【議　事】

広報委員長の平岩氏が議長をつとめ、山岸代表理事挨拶のもと、今年度最終となる第十二回理事会開会。

Ⅰ．報告・連絡事項

1．各支部・部会・委員会等の案内報告

共同求人委員会から高校生のインターンシップ協力依頼、青年部会から関東甲信越青年経営者フォーラムの告知、広報委員会からホームページ更新・同友会PRカード制作報告、バナー広告掲載依頼がありました。

2．その他

六月に広島で開催される第二十二回女性経営者全国交流会の案内がありました。

Ⅱ．承認事項

1．入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者二名、退会者二名を承認。会員数は変わらず五三四名となりました。

2．二〇一八年度収支報告案

二〇一八年度の収支報告案が提案され、これを承認しました。

Ⅲ．審議事項

1．新年度役員体制についての再提案

新年度の役員体制案について、総務会から再提案があり、審議の結果、これを承認しました。

2．新年度予算案審議

新年度の予算案について検討し、これを承認しました。

3．定時総会の詳細について

定時総会の詳細スケジュールと役割分担を審議・決定しました。

4．意見交換

「同友会運動の発展のために」をきちんと学ぼうと、四回目となる今回も山岸代表理事の問題提起を受け、グループ討論で深め合いました。

Ⅳ．その他

1．次回の理事会開催日程

第一回理事会を左記の通り開催することが確認されました。
日時：五月七日（火）
会場：同友会事務所・会議室

新会員ご紹介

4月度常任理事会承認
会員名簿追加録（順不同・敬称略）
企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

高崎支部

㈱フィロソフィ
〒370-0073　高崎市緑町1-2-2 YKビル2F
TEL：027-384-2130
FAX：027－364－2077
事業運営における経営支援、財務戦略策定、事業再生、HR戦略支援（キャリアコンサルティング）等
洗濯・アイロン・絵画鑑賞（印象派中心）

執行役員
猪瀬慶久
S59年生

【紹介者／水野龍太】
当社は財務・人事領域に特化したコンサルティングで経営課題に寄り添い、解決まで伴走することを使命にしています。皆さまとの意見交換・学びを通して、【哲学】し続けます。どうぞよろしくお願いいたします。

沼田支部

須藤農園
〒378-0301　沼田市利根町平川1164-1　パロットハイムA202
TEL：080-6557-6156
FAX：027－202－0962
農産物（レタス・キャベツ）生産

代表
須藤崇
S57年生

【紹介者／宮田徳彦】
群馬県沼田市利根町を中心にレタス、キャベツを生産しています。新規就農して現在6年目で、農業の事も経営の事もまだまだ未熟で、学ばなければならないと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

これからもお客様の信頼を糧に

私たちにできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします
「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO_2排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。

JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp
上武印刷株式会社　〒370-0015 高崎市島野町890-25

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム
充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！
〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058　FAX0276-30-4059
URL：http://www.apm-f.com　E-mail：fuse@apm-f.com

アルマイト・メッキ（亜鉛、ニッケルetc）・真空蒸着
含浸処理・塗装（UV、粉体、溶剤、カチオン）
上毛電化 株式会社
ISO9001：2015認証取得　エコ・アクション21認証取得
〒375-0056　群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL：0274-24-3228　FAX：0274-24-4841
URL：http://www.alumite.jp/　E-mail：joumou@vesta.ocn.ne.jp
関連会社（表面処理）ヘイワテクノ株式会社　株式会社高橋塗装工業所